



鶏 鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『新しいぶどう酒は新しい革袋に入れるものだ』

聖書(マルコ福音書2章22節)

牧師 河合裕志

この言葉、知っている人は多いかも。新しい内容のものは新しい形式を必要とする、といった意味で使われているよう。

イエスはこの言葉の前にこう言っている。『だれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりほしくない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる』。

新しいぶどう酒とはフツフツと醗酵最中のぶどう酒、気体・ガスが発生。革袋はやぎ、羊等の首、四肢を切断し、四肢と尾のところをふさぎ、首のところを口にしたもの。ぶどう酒だけでなく水やミルクの容器に。

今その革袋に、しかもいい加減古くなった革袋に新しいぶどう酒をいれたらどういうことになる？ 古くなった革袋は弾力性がなくなっているので勢いのある新しいぶどう酒には耐えられない。パチンとはじけてしまう。破れてしまう。これは大損害。そこで長い経験知から『新しいぶどう酒は新しい革袋に入れるものだ』という常識が。

イエスはこの誰もが知っているものを使って何を言いたい？ このヒントはこの言葉の前に載っている「断食についての問答」に。人々がイエスに質問。「ヨハネの弟子たち

ちとファリサイ派の弟子たちは断食しているのに、なぜあなたの弟子たちは断食しないのですか」。イエスの答。『花婿と一緒にいるのに婚礼の客は断食できるだろうか』。イエスは自分を花婿にたとえ弟子達を婚礼の客とした。婚礼ぐらい喜びに満ちた時はないかも。この席でわざわざ断食をする人はいないでしょう、ということ。

ここにイエスの新しさは光ってる。これまでの宗教は断食とか、いろんな難行・苦行を課した。そうした禁欲が信仰深いとも思われた。しかしイエスは違っていた。今生かされていることを感謝し、今与えられているものを喜んで頂く、という風だった。イエスも弟子達も喜んで飲み食いした。

新しいぶどう酒とはこうしたイエスの新しい教えであり生き方というもの。これは旧来のユダヤ教という古い革袋にはもはや納まり切れなくなる。勢いもう一つの新しい革袋、受皿が必要に。これがキリスト教でありキリスト教会というもの。

皆さんにとって新しいぶどう酒は何？ 新しく得られた知識、経験か。そしたらそれを柔軟な革袋＝心の中にとりこみライフスタイルを少しでも新しくして行ったらどうだろう。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 毎日曜日午後6時

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高青年会 : 毎日曜日礼拝後

おしゃべり会 : 毎木曜日午前10時

聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時